

思いのたけ 新聞

Vol.6

@2018 Fukuoka Omoiotake Times

FUKUOKA, THURSDAY, NOVEMBER 02,



平成 30 年福岡県行啓にかかる特別奉迎 皇太子、皇太子妃両殿下が福岡県を訪問されました

～平成 29 年 7 月九州北部豪雨災害復旧状況等御視察～

平成 30 年 9 月 25 日(火)は、皇太子、皇太子妃両殿下が福岡県にお見えになりましたので、奉迎申し上げたく、福岡県議会の皆様とホテルにてお待ち申し上げました。両殿下は、第 4 回世界社会科学フォーラム開会式にご臨席、併せて平成 29 年 7 月九州北部豪雨災害復興状況等御視察のため、9 月 25 日から 9 月 26 日まで福岡県に行啓になりました。

福岡県においでいただきましたこと、心から感謝申し上げます。

来年は新しい御代となります。新しいページがめくられようとしている瞬間(とき)に生きる中心世代として、改めて責任と気概を持って、社会に貢献して参りたいと存じます。



九州の自立を考える会 キューバ等視察



平成 30 年 8 月 17 日から 28 日まで、アメリカロサンゼルス、キューバ、メキシコを訪問いたしました。

南加福岡県人会が創立110周年を迎え記念式典が開催されたことに合わせて訪問し、キューバでは防災大国としての取組みや医療体制について視察しました。

社会主義国でありながら、忍耐強い国民性と自己防衛意識の高さ、そして、地域と国家の結びつきの強さによって、災害対応と避難行動の迅速さを実現していることが分かりました。そして、キューバは観光地としても潜在力があるなあと印象を持ちました。世代が変わると大きく変貌しそうな勢いを感じました。



平成 30 年 9 月福岡議会定例会 一般質問



平成 30 年 9 月の福岡県議会定例会での一般質問におきまして、土砂災害特別警戒区域についてと宿泊税について質問させていただきました。福岡県は、平成 30 年版の防災白書で、土砂災害発生件数が 244 件、過去 10 年の平均が 18 件ですから、格段に上がり、過去 10 年間で最も多くなり、全国一位の土砂災害発生件数となっています。

※一般質問の一部を抜粋した答弁です。

岳 Q. 福岡県において、土砂災害に備えて平日頃から事前にどのような認識を持ってもらうように注意喚起しているのか、また、今後将来想定される豪雨災害に対してどのように取り組んでいくのか、知事のご見解を問う。

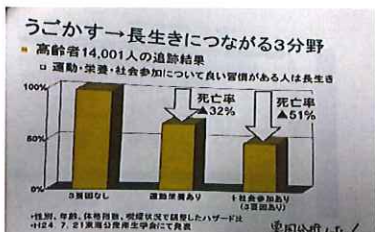
知事 A. 災害時に適切な避難行動を起こすためには、平常時から自分がどのような危険な箇所に住んでおり、どのような災害が起こりうるかを知っておくことが重要である。そのため、県では、住民に対する土砂災害についての出前講座の実施や市町村の防災訓練の機会を活用することなどにより、土砂災害特別警戒区域の危険性の説明を行うとともに、避難行動の事前準備の重要性について、啓発を行っている。県としては、引き続き、「福岡県防災ハンドブック」も活用するなど、住民の皆さまの一層の防災意識向上に努めてまいります。



生涯健康安心社会調査特別委員会 管内・管外視察

平成 30 年 6 月 26 日から 27 日は、生涯健康安心社会調査特別委員会の管内視察で、久留米にある「社会福祉法人天神会 様」と「社会福祉法人天神会 古賀病院 21」様を、また、城南区にある「特定非営利法人在宅医療サポート協会」様をそれぞれ視察いたしました。また、平成 30 年 8 月 28 日から 30 日まで、静岡県と愛知県を訪問し、静岡県庁では、静岡県健康長寿プロジェクトについて、愛知県武豊町では、地域と協働で進める介護予防について、常滑市では、地域マネジメント支援システムについて、それぞれレクチャーいただきました。

生涯健康安心社会調査特別委員会では、一貫して「健康寿命」について掘り下げた議論を行っていますが、①運動②栄養③社会参加の3つの要素が習慣となると長生きにつながることで、特に「社会参加」は、地域におけるコミュニケーションが日ごろからとれていることが重要で、地域社会に安心感を覚え、「孤独」を感じさせないことが大切であるということを再認識させていただきました。



岳 Q. この度、「福岡市観光振興条例」が可決・成立したことで、そして、福岡市が提出した意見書についてどう感じておられるのか、また、二重課税問題にも発展しかなないこの問題について今後どのように対処されるおつもりなのか知事のご見解を問う。

知事 A. 市議会が条例を可決したその日に、市は報道機関に対して、県に意見書を提出したとの発表をされているが、その提出について、事前の連絡もなく一方的に県に届けられ、その際、意見書の提出趣旨、その内容について何ら説明もなかった。

その上、これまでの経緯からすると、二重課税となり得る可能性を認識した上で、市は宿泊税導入の実務手続き開始の決定をしており、このことは、県のこれまでの取組みを全く無視するものであり、たくいへん遺憾である。

観光振興財源の検討にあたっては、①観光振興に必要な施策とその財源のあり方、②受益と負担の関係、③観光地としての競争力への影響などについて、慎重かつ丁寧に検討する必要がある。

このような観点から、福岡市と福岡県は十分な調整を図っていく必要があるとともに、福岡市に宿泊された方は、県内各地を回る方も多く、県内全体の観光を振興することで、福岡市に來られる方や宿泊される方も増えていくことになる。

観光振興は広域的な観点から議論すべきといった県の考え方についても福岡市にしっかり伝えていきたいと考えている。
福岡県としては、県内の他の市町村の意見も踏まえ、福岡市にしっかり調整してまいります。





大濠公園日本庭園付近への民間活力導入に関するサウンディング調査を実施します。

近年のインバウンドの増加を受けて、大濠公園内にも多くの外国人が訪れており公園の北東側では欧米スタイルの飲食店が公園の賑わいを創出しております。

県では、公園の南側に位置する日本庭園の観光資源としてのポテンシャルをさらに高めるために、隣接する箇所に日本茶(八女茶)をテーマとした和風カフェの公募を検討しています。

公募に先立って、施設誘致の可能性を判断するとともに、公募に向けた条件設定のため、飲食店やディベロッパーなどの民間事業者から幅広く意見やアイデア提案を募ることにより、事業の市場性、公募条件を判断するサウンディング調査(Sounding:対話型市場調査)を実施します。



思いのたけ✿たけの思い 2018



平成30年10月1日(月)は、第45回国際美容選手権大会が、福岡市九電記念体育館で行われ、福岡県議会厚生労働環境委員会副委員長として、ご挨拶の機会をいただきました。

45年も続いてきた大会のほとんどの会場が、この九電記念体育館でしたが、取り壊しのため、次回以降降えなくなることは残念なことです。

やはり、スポーツの大会や、理美容選手権大会のような、日頃の鍛錬の成果を競い、技術を高め合う大会は、中央区のような福岡市の都心の集まりやすい場所に必要であり、公共施設の整備について考えさせられるところでもあります。

旧福岡県公会堂貴賓館について



おかげさまで平成二十九年度、平成三十年度の予算に反映され、旧福岡県公会堂貴賓館は、訪日外国人をターゲットに福岡の歴史の一端と、建築に注がれた「匠の技」を周知する機会づくりに取り組むこととなり、各部屋の説明はもろん、英語・中国語・韓国語に対応したPR用の開設板を設置したり、館内にカフェも開業したりしています。また貴賓館周辺の樹木も手入れされ、周辺から貴賓館の見通しが利くように改善されました。



来年8月、那珂川沿いには、カフェやバー、バルが入る施設、公園西側の区域にはベーカリーやレストランの施設が整備されます。そして水上バス利用者らの休憩施設も設置される予定です。

福岡県職員の働き方改革について

総務部 財政課
平成30年9月18日

議会議員 議員表示盤閲覧システムについて

- 概要
県庁の幹部職員による議員への説明が、迅速に行えるよう、議員の議員表示盤をパソコンから閲覧できるシステムを開発する。
- システムの概要
議員表示盤の閲覧(議員表示盤閲覧システム)と、議員の個人情報(個人情報管理システム)との連携。
- 経費(概算)
設置工事及び保守費用(5年分)込みで50~60万円程度。
- 設置予定時期
9月議会終了後

職員の働き方改革については、コミュニケーションの活性化、働き方の見直し、休暇を考える上で、業務改革・生産性向上を図るための「仕事の見える化」そして、ICT環境の充実が重要ではないかと考え、平成29年12月の一般質問で質問させていただきました。

職員のストレス軽減を図る職場環境となれば、自分の時間が増え余裕ができ、職員がスキルアップの時間を確保したり、気分転換を図りリフレッシュできる時間も多くなったりすると思います。

そんな中、この度、議会棟登壇表示盤閲覧システムについて、9月議会終了後、システムの再構築が実現することとなりました。将来は、タッチパネル式のものに変更し、議会事務局や控室の業務の軽減につなげ、職員が無駄な時間を費やさずにすむように更なるシステムの更新を望むところです。

厚生労働環境委員会

管内視察【東区・久留米市・八女市・筑後市】

平成30年5月8日から9日にかけて、福岡県立福岡高等技術専門学校(福岡市)、宮ノ陣クリーンセンター、社会福祉法人 ゆうかり学園(以上久留米市)、矢部川浄化センター(筑後市)、社会福祉法人 明和会 JOB 陽だまり工房(八女市)を視察しました。

新しくなった高等技術専門学校では、働く意欲のある若者が技術を習得するために頑張っていました。素晴らしい環境で、日々新たな自信と希望を育んでいただきたいと思います。また、最新鋭の宮ノ陣クリーンセンターについても施設の充実した環境に今どきのクリーンセンターは素晴らしいなあと感じました。

矢部川浄化センターでは、九州北部豪雨災害の爪痕である木材のチップ化が進んでいました。それでも仮置き場はその当時フル稼働状態でした。皆さまのご努力に頭の下がる思いでありました。

ゆうかり学園では、広い敷地で、様々な事業を行っており、身体障がい者支援施設として地域医療介護の先頭を走っていらっしゃるなあという印象でありました。また、JOB 陽だまり工房では、「農福連携」の取組みについてご説明を受け、障がい者の方々の方々の日々の生きがい、やる気をいかに引き出しながら、意欲的に毎日を過ごしていただけるように工夫なさっていました。



(発行人) 福岡県議会議員 岳 康宏
(連絡先) 福岡県議会議員 たけ 康宏 事務所
〒810-0041 福岡市中央区大名2-3-2-3F Tel. 092-738-7381